

2014年12月18日

公益財団法人 日本サッカー協会
2014年度 第12回理事会

協議事項

1. プロサッカー選手規則 改正の件
<p>(協議) 資料No.1</p> <p>Jクラブが保有できるプロA選手の上限数25名に関して、Jリーグから緩和の要望がなされた為、プロサッカー選手の契約、登録及び移籍に関する規則の該当部分について改正したい。</p> <p>併せて誤記を修正したい。</p> <p>施行日：2014年12月18日（理事会承認後、速やかに）</p>
2. 部会員選任の件
<p>以下の者を部会員に追加したい。</p> <p>技術委員会 強化部会</p> <p>部会員 木村 浩吉（きむら こうきち） 技術委員/ユース育成サブダイレクター 育成部会長/指導者養成部会員</p>
3. J F A マッチコミッショナー制度の件
<p>(協議) 資料No.2</p> <p>JFA マッチコミッショナー（以下、「JFAMC」）は、2008年度より173名でスタートし、現在はフットサル担当を含め、234名が認定されている。他方、地域サッカー協会、都道府県サッカー協会、大学連盟等でも独自のマッチコミッショナー制度があり、大会・試合にマッチコミッショナーを置くケースが多く見受けられる。これらの実態からJFAMC制度の対象を9地域・47都道府県サッカー協会までに拡げること、認定のみならずJFAとして登録・管理を行うことを目的とした新制度を2016年度より実施したい。またJリーグMCについても現状では見做してJFAMCとしているが、新制度の登録に加入する方向で調整したい。</p> <p>➤ 2015年度JFAMC制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の認定制度を継続する。 ・ただし、推薦元に9地域サッカー協会を加える（現行はJFAのみ）。 <p>これにより47都道府県が必要とする現行JFAMCの員数を確認、適切にJFAMCを配置して新制度実施に向けての基盤整備を行う。</p> <p>➤ 2016年度新制度について</p> <p>以下のスケジュールで検討・策定を進めたい。</p> <p>1月～3月 地域・都道府県の実態調査</p> <p>4月～8月 対象試合、研修、認定、登録・管理等の検討および制度策定</p> <p>9月 新制度案を理事会付議</p> <p>10月・11月 次年度JFAMC研修実施</p> <p>12月 JFAMCを理事会付議</p> <p>登録に関する規定を評議員会付議</p>
4. 第37回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会の件

(協議) 資料No.3

第 37 回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会 (2015/2016) を、以下の通りに開催したい。

1. 開催日程

日 程 : 1 回戦	2015 年 11 月 7 日 (土) ・ 8 日 (日)
2 回戦	2015 年 11 月 14 日 (土) ・ 15 日 (日)
3 回戦	2015 年 11 月 21 日 (土) ・ 22 日 (日)
準々決勝	2015 年 12 月 6 日 (日)
準決勝	2015 年 12 月 23 日 (水・祝)
決 勝	2015 年 12 月 27 日 (日)

※会場は主管募集により決定する

2. 出場チーム数

変更前) 第 36 回大会 36 チーム

※なでしこリーグ枠 10 チーム、地域代表枠 26 チーム (チャレンジリーグ所属チームは地域予選から出場)

↓

変更後) 第 37 回大会 48 チーム

※なでしこリーグ枠 (1 部 10 チーム、2 部 10 チーム)、地域代表枠 28 チーム (チャレンジリーグ所属 12 チームは地域予選から出場)

[変更理由]

2015 年シーズンよりなでしこリーグは 1 部・2 部制、チャレンジリーグは東西リーグ制となる。皇后杯は、なでしこリーグ 1 部 10 チーム、2 部 10 チームの合計 20 チームが本大会からの出場となり、前年度より 10 チーム増となる。

昨今、女子チーム数は毎年増加しており、東西のチャレンジリーグも将来的にチームを増やす構想があり、地域および都道府県からのチーム出場枠を確保することを目的に 48 チームの出場枠に拡大したい。

※トーナメント表は別紙参照

5. 日本人指導者海外派遣の件

(協議) 資料No.4

アジア貢献事業の一環として、下記の派遣に関し、指導者本人、派遣先協会との契約をお諮りしたい。

派遣指導者：三田 智輝(みた みちてる) (39 歳)

派遣先協会：ヨルダンサッカー協会

資 格：A F C 公認 A 級ライセンス (2013 年取得)

役 職：女子トレセンヘッドコーチ

契約期間：2015 年 1 月 25 日～2015 年 6 月 (J I C A 赴任日の前日まで)

費用負担：[J F A] 給与及び傷害保険料

[ヨルダンサッカー協会] 住居・自動車、日本-ヨルダン間の航空券

略 歴：添付別紙のとおり

補 足：三田氏は今年 3 月から J I C A 派遣で上記の業務についているが、2015 年 1 月 24

日でJICAでの1回目の派遣期間が満了し、2015年6月より2回目の派遣で10ヶ月間再渡航する予定。ヨルダンサッカー協会より、6月の2回目の派遣が開始されるまでの5ヶ月間もヨルダンで指導を続け、女子トレセン活動の充実のために活動を継続して欲しいと要請があり、それに応え、本契約を締結したいもの。

6. 審判員とのプロフェッショナル契約の件

(協議)資料No.5

下記の15名の審判員とプロフェッショナル契約を締結したい(継続14名、新規1名)。

契約期間は、2015年2月1日～2016年1月31日。

なお、新規契約者のプロフィールは別紙の通り。

※ リストは年齢順であり、年齢は2015年1月1日現在のもの。

【主審】<継続>

	氏名	生年月日	年齢	備考
①	吉田 寿光 (よしだ としみつ)	1963年8月29日	51	-
②	村上 伸次 (むらかみ のぶつぐ)	1969年5月11日	45	-
③	扇谷 健司 (おおぎや けんじ)	1971年1月3日	43	-
④	西村 雄一 (にしむら ゆういち)	1972年4月17日	42	-
⑤	松尾 一 (まつお はじめ)	1972年9月26日	42	-
⑥	家本 政明 (いえもと まさあき)	1973年6月2日	41	2015国際審判員
⑦	東城 穰 (とうじょう みのる)	1976年8月30日	38	2015国際審判員
⑧	佐藤 隆治 (さとう りゅうじ)	1977年4月16日	37	2015国際審判員
⑨	飯田 淳平 (いいだ じゅんぺい)	1981年8月14日	33	2015国際審判員
⑩	木村 博之 (きむら ひろゆき)	1982年1月30日	32	2015国際審判員

<新規>

	氏名	生年月日	年齢	備考
①	山本 雄大 (やまもと ゆうだい)	1983年3月4日	31	2015国際審判員

【副審】<継続>

	氏名	生年月日	年齢	備考
①	名木 利幸 (なぎ としゆき)	1971年11月29日	43	2015国際審判員
②	八木 あかね (やぎ あかね)	1974年1月14日	40	2015国際審判員
③	大塚 晴弘 (おおつか はるひろ)	1975年4月11日	39	2015国際審判員
④	相楽 亨 (さがら とおる)	1976年6月25日	38	2015国際審判員

7. 登録ウインドーの件

2015年より J1 リーグが 2 ステージ制となるため、登録ウインドーについて以下の通り、ルールを変更したい。

第 1 の登録ウインドー： 1 月 2 日以降の第 1 金曜日から 12 週間 (変更なし)

第 2 の登録ウインドー： J1 リーグ第 2 ステージ第 1 節の直前の金曜日から 4 週間

2015 年の実際の登録ウインドー

第 1 の登録ウインドー：1 月 2 日 (金) ～3 月 27 日 (金)

第 2 の登録ウインドー：7 月 10 日 (金) ～8 月 7 日 (金)

※従来のルールにあてはめると、7 月 17 日～8 月 14 日。

(参考) 2010 年より 2014 年まで、登録ウインドーは以下の通り固定していた。

第 1 の登録ウインドー： 1 月 2 日以降の第 1 金曜日から 12 週間

第 2 の登録ウインドー： 7 月の第 3 金曜日から 4 週間